

電 波 時 計

(報時・振り子付掛時計)

～ 製品の特長 ～

- 電池を入れるとおよそ3分以内に時刻を表示します
- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- メロディ、チャイムで時刻をお知らせします
- 暗くなると秒針と報時が自動停止します

もくじ

安全にお使いいただくために	使用方法.....	4
はじめにお読みください.....	時刻のバックアップ機能.....	6
お手入れについて.....	時計の掛けかた.....	6
電波時計について.....	報時機能の設定.....	7
• 電波時計とは	明暗センサーのはたらき.....	7
• 標準電波とは	静電気による誤作動について.....	7
• 電波の受信範囲について	受信の流れとサーチ機能の使いかた.....	8
• 標準電波の送信停止について	標準電波を受信できない場合.....	9
• 海外でのご使用について	手動での時刻合わせ.....	9
• 電波を受信しにくい環境	電波受信機能のON/OFF設定.....	10
	電池の交換時期お知らせ機能.....	11
	• 電池使用上のポイント	
	• 電池の種類について	
	• 電池の寿命について	
	電池・時計の廃棄.....	11
	おもな製品仕様.....	12
	アフターサービスについて.....	12
	• お問い合わせ先	

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12


<http://www.rhythm.co.jp>

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください


注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

警告


死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
禁止


- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 乾電池に充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。


 電池からもれた液にふれない


- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意


傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

 分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。
分解禁止

 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
必ず守る

■使用場所について

 下記のような場所では使わない。
必ず守る 品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。(プール、温泉場など)
- 多くの油を使用する所。(調理場など)
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

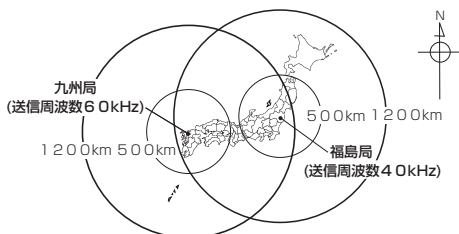
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

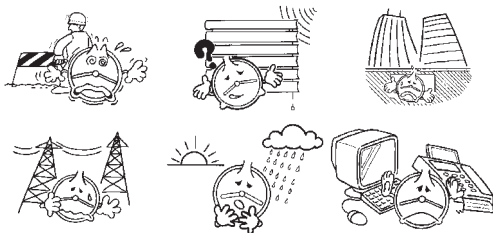
海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてお使いください。

電波を受信しにくい環境

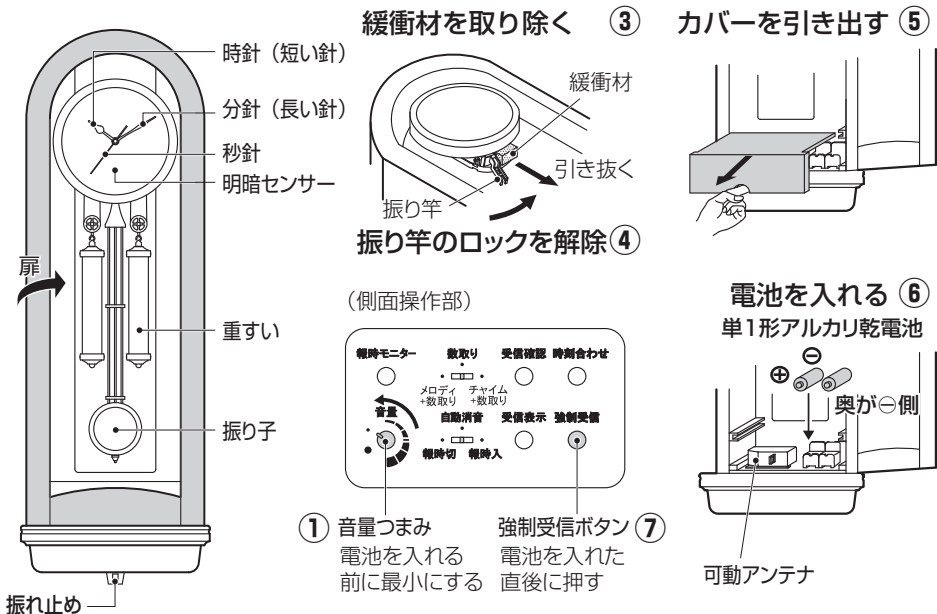
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多いところなど電波障害の起きるところ
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



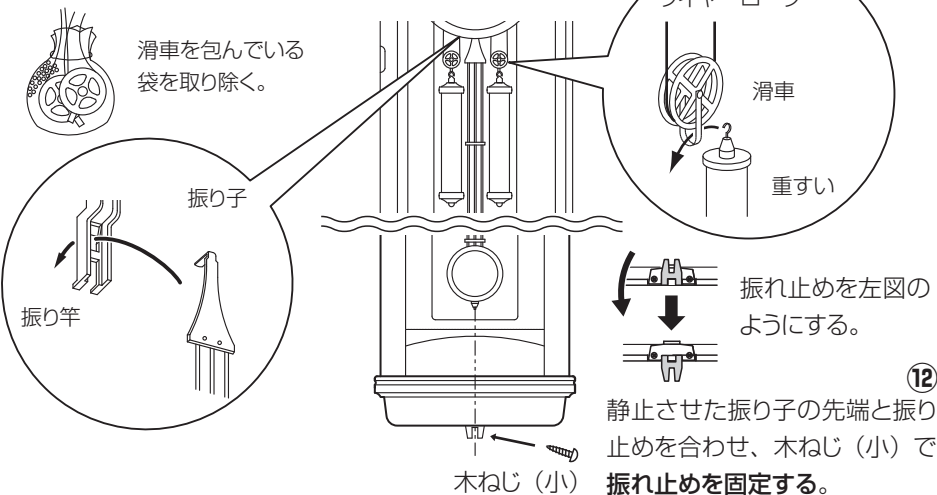
使用方法 電池を入れて標準電波を受信して時刻を合わせる

●図は操作説明用ですので、実際の商品とは操作部の位置やデザインが異なることがあります。



時計を掛けたときに、振り止めを固定しないで、扉を開けると時計が傾くことがありますので、注意してください。

時計を掛けた後に、振り子を取り付ける ⑪



この時計は、時刻を合わせて出荷しております。

表示用の電池を入れて、強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に時刻を表示します。

※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

1 表示用の電池を入れて、強制受信ボタンを押す

- ①音量つまみを左に回して、操作しているときに大きな音で鳴らないようにする
- ②時計の側面のカギを外して扉を開ける
- ③振り竿を押さえている緩衝材を引き抜く
- ④振り竿を矢印方向に押ししてロックを解除する
- ⑤カバーを取り外す
- ⑥表示用の電池、単1形アルカリ乾電池を2個入れる
- ⑦強制受信ボタンを押す
- ⑧カバーを取り付ける
- ⑨扉を閉めてカギを掛ける

2 時計を掛けて、振り子と重すいを取り付ける

- ⑩「時計の掛けかた」(P.6)に従って時計を掛ける
- ⑪扉を開けて、振り子を取り付ける
- ⑫振れ止めを小ねじで固定する
- ⑬重すいを取り付ける
- ⑭扉を閉めてカギを掛ける

3 「報時機能の設定」(P.7)に従って、お好みに合わせて設定する

4 受信結果を確認する

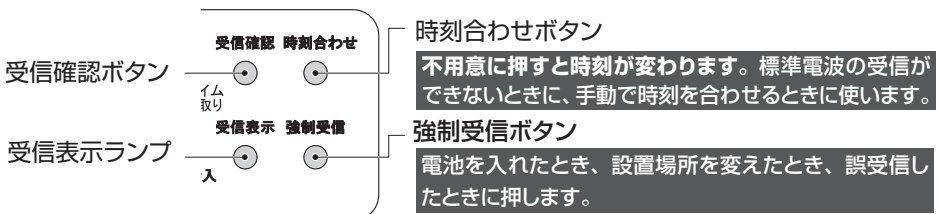
受信結果は、強制受信ボタンを押してから15分以上待つてから、受信確認ボタンを押し、受信表示ランプで確認してください。

受信成功：5秒間点灯→そのままご使用ください。

受信失敗：5秒間点滅→「標準電波を受信できない場合」(P.9)参照。

詳しくは「受信の流れとサーチ機能の使いかた」(P.8)を参照してください。

- 受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
- 受信に成功しているのに、時刻が正しくない場合は、ノイズの影響と思われるので、場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。



時刻のバックアップ機能

- 表示用電池が無くて、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合は時刻を修正しています。
- 表示用電池が消耗したときは、内蔵電池に切り替わり、時を刻み続けます。
※内蔵電池のみでは、針による時刻表示、報時を行いません。
- ※電波受信機能がOFFに設定されているときは受信を行いません。
- ※表示用電池により時刻表示がされているときは内蔵電池を使いません。

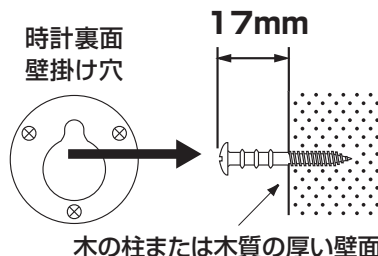
時計の掛けかた

⚠ 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
 - 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具（木ねじ）に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
 - 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
 - ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- ※掛けた後に、振れ止めを木ねじ（小）で固定してください。

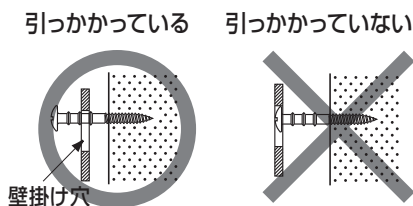
■木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは右図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



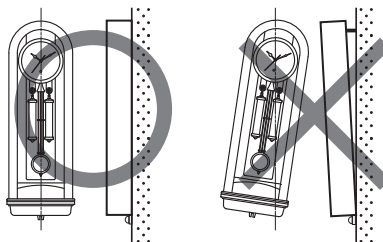
■その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

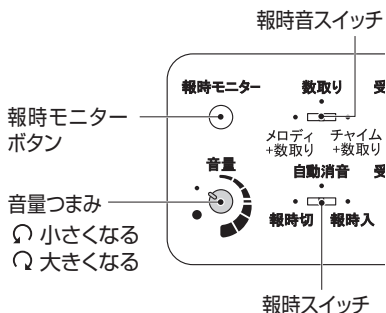


■垂直に掛ける

- 垂直に掛けないと振り子が止まったり、正常に揺れないことがあります。
- 垂直に掛けて、振れ止めを固定してください。



報時機能の設定



■ 音量調節

音量つまみを回して調節することができます。報時モニターボタンを押し、報時している間に音量つまみを回して調節します。

■ 報時音の試聴

報時モニターボタンを押すと報時音スイッチに対応した報時音を奏でます。報時は時刻に対応します。たとえば、3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。報時音スイッチが「メロディ+数取り」のときは、鳴っているときに報時モニターボタンを押すと、次のメロディに切り替わります。

■ 報時スイッチの設定

報時の入 (ON)/ 切 (OFF)、夜間など暗くなると自動的に停止させる自動消音のいづれかを選択します。

入 : 常に報時する。

自動消音 : 暗くなると報時を停止する。

切 : 報時を停止する。

■ 報時音スイッチの設定

チャイム+数取り

毎正時：ウェストミンスターを奏でた後に、時刻に対応した数の鐘が鳴る
30分：鐘が1回鳴る

メロディ+数取り

毎正時：1曲メロディを奏でた後に、時刻に対応した数の鐘が鳴る
30分：鐘が1回鳴る

数取り

毎正時：時刻に対応した数の鐘が鳴る
30分：鐘が1回鳴る

○メロディは、毎正時に切り替わります。

○メロディの曲目は時計裏面に表示してあります。

○曲順は変更することはできません。また、時刻と曲目は固定されていません。

明暗センサーのはたらき…暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。また、報時スイッチが「自動消音」のときは、報時を停止します。

○昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

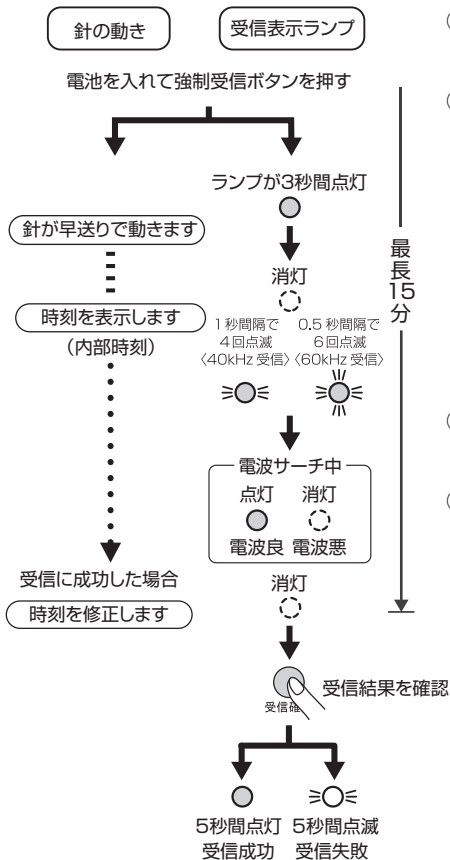
○常時秒針が停止するときは、「電池の交換時期お知らせ機能」(P.11) 参照。

静電気による誤作動について

静電気により、時計・報時機能が正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

受信の流れとサーチ機能の使いかた

受信表示ランプの状態により、電波を受信できる場所かどうかを知ることができます。この機能は、電波受信機能が「ON」のときに使えます。



① 窓際やベランダなど電波の受信しやすい所に時計を移動する

② 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。15～45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。およそ1分以上待っても点灯しない場合は、時計の向きや場所を変えてから強制受信ボタンを押してください。

③ 受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動する

④ 受信表示ランプで電波の状態を確認する

電波サーチ中の受信表示ランプ

▶ 消灯→電波を受信できません。

時計の向き、掛ける高さ、アンテナの角度を変えてみる。それでも点灯しない場合は、設置する場所を変えて、②からやり直してください。

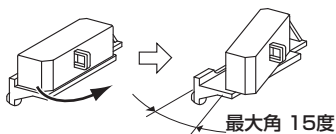
▶ 不規則点滅、短い間隔での点滅→電波が弱い。受信に失敗する可能性があります。

▶ 点灯→良好な電波状態。

※強制受信ボタンを押した後、電波をサーチして、受信が完了するまでには、最長15分間かかります。

○受信結果は、受信後24～25時間以内の結果を表示します。

アンテナ角度の調整



アンテナの角度を調整することにより、電波を受信しやすくなります。

アンテナを無理に曲げると、故障や破損の原因となります。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONになっていると、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

※手動で時刻を合わせると、時間精度はクォーツ精度になります。

手順

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

秒は、時刻合わせボタンを離したとき、ゼロ秒に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動きます。

※電波受信スイッチがONの場合、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

電波受信機能のON/OFF設定

ノイズなどにより誤受信しやすい所や、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。

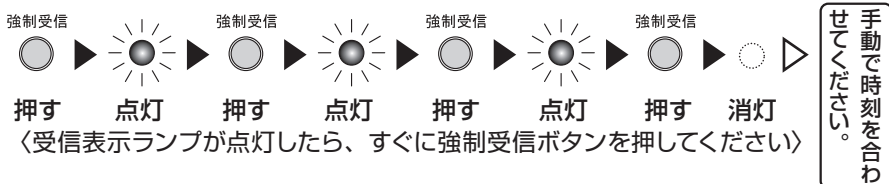
電波受信機能をONにすると定期的に受信を行い、OFFにすると受信を行いません。

※OFFのときに電池を入れたり、強制受信ボタンを押すと、受信ランプが点灯して時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信を行わずに時刻の表示になります。

※工場出荷するときの受信機能の設定は、ON(有効)になっています。

■電波受信機能をOFFにするには(受信機能を無効にするには)

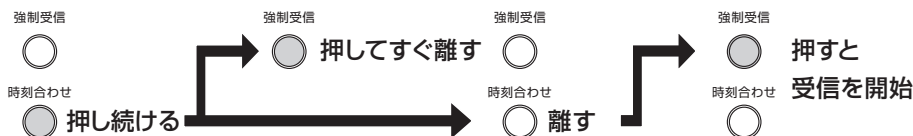
図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには(有効にして受信を開始するには)

OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※表示用の電池を取り出しても設定を保持しますので、ONからOFF、OFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

電池の交換時期お知らせ機能……秒針が常時12時位置に止まる

電池の交換時期になると、明るい所でも秒針が12時位置に止まり、報時も停止します。時針と分針はこのような状態になってから、1ヵ月程度は動き続けますが、電池からの液もれを防ぐためお早めに電池を交換してください。

電池を交換した後は、必ず強制受信ボタンを押してください。



注意

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
(例 . Panasonic オキシライド乾電池)

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度
秒針 ±1秒
時分針 目盛りに対して ±3度
標準電波を受信しない場合
平均月差 ±20 秒 (常時のオーツ機能)

表示用電池 単1形アルカリ乾電池 JIS LR20 2個
内蔵電池 CR2032 1個
電池寿命 表示用電池 約1年
報時 音量中位 17回/日報時
内蔵電池 約5年以上 (交換不要)

電波時計機能 電波の受信に成功すると時刻を修正
受信局 福島局/九州局 自動選択
受信回数 最少1回/日、最多12回/日
受信ON/OFF あり
電波サーチ機能 あり

暗所秒針停止 明暗センサーに連動して停止
電池交換時期 秒針が12時位置に常時停止
お知らせ機能
報時機能 チャイム、メロディで報時
報時精度 表示時刻に対して ±1秒
報時音 電子音
収録曲数 6曲
暗所自動停止 明暗センサーと連動して停止
音量調節 ロータリ式

標準電波の受信時間と回数は、受信状態により変化します。

受信成功から72時間以内の場合 1～3回/日
AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40
上記以外の場合 12回/日
奇数時の16分40秒

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単1形アルカリ乾電池	2個	CR2032 (内蔵)	1個	木ねじ (大)	1個	木ねじ (小)	1個
重すい	2個	振り子	1個	取扱説明書	本書	保証書	1枚

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品 (電子回路など) は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース類) の修理には、類似代替品の使用または現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせの際は、製品番号 (型番)「4MN421JB」をお伝えください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.